

## 平成25年度北海道小学校長会地区活性化支援事業【実践事例レポート】

- 1 報告地区：空知地区
- 2 実践報告学校名：月形町立月形小学校
- 3 報告者職・氏名：校長 沼田 清
- 4 キーワード：健やかな体づくり



### 1. 地域・学校の様子

月形町の歴史は古く、明治14年7月樺戸集治監（後に監獄）初代典獄「月形潔」氏の性を取り空知管内第1号の村として「月形村」が誕生しました。囚人を使役し開墾作業、道路建設などが行われ、月形の産業の基盤が築かれました。

本校は明治15年10月簡易教育所として開校し、月形小学校の歴史が始まりました。平成24年には開校130周年を迎え、盛大に記念式典が開催されました。空知管内で現学校の中で一番歴史を有する学校です。現在の校舎はちょうど100周年の時に建てられたものです。平成23年度をもって月形町立札比内小学校が閉校となり、町内唯一の小学校となりました。現在児童数115名、特別支援学級4学級を含め10学級の学校です。児童は学習に意欲的に取り組む子が多く、比較的学力が高く落ち着いて生活しています。一人一人の個性を大切にしながら基礎・基本の徹底を図るとともに自ら課題を見つけ・自ら考え・主体的に判断し行動できる子の育成を目指し、教育活動を行っています。



### 2. 教育目標・重点

#### 教育目標

考えて行動する子  
進んで学習する子  
仲良く助け合う子

月形小学校校歌

一 石狩川の水清く  
増毛山なみゆるぎなし  
沃野輝く月形の  
我が学舎は懐かし我ら

二 父祖の勲し汗のあと  
受けていよいよ奮いたち  
睦び励みて新しき  
日本国を興さん我ら

#### 今年度の重点

- ◎ 知・徳・体の調和のとれた生きる力を育む教育の推進
  - ・ 自ら学び，人間性豊かで，たくましい子の育成
  - ・ 説明責任，結果責任を果たす学校経営

### 3. 健やかな体の育成

平成24年度に文部科学省指定事業「栄養教諭を中核とした食育推進事業」を受け1年間取り組んでまいりました。今まで本校で取り組んでいたことを基に「食育」を観点として児童はもちろん保護者・地域を巻き込んで推進してきました。

まず、田植え・稲刈り体験学習ですが、地域・保護者の方の多くのお手伝いをいただきながら、約5aの水田に3年生以上の児童が手作業で田植え、稲刈りをしています。月形町は毎日が米飯給食なのですが、給食として約2か月間まかなうほど収穫できます。自分たちで収穫したお米が出ている間の給食は残食が激減します。昨年度、今年度と苗を提供してくださっている方のご厚意で「ゆめぴりか」を植えましたので、ご飯をほおぼる子どもたちは笑顔いっぱいです。その他の取組として、保護者を対象とした給食センターの見学会、親子料理教室、my箸作りなどを実施しました。また、テレビでおなじみの料理研究家星澤幸子氏をお迎えしての講演会では、会場がいっぱいになるほどの盛況でした。著名な方を招いての講演会は多くの方に「食育」の大切さを訴えることができ、大変有意義でした。それぞれの取組を通して、「食育」への関心は高まりました。しかし、児童の「食」は家庭の協力が不可欠であるため、保護者への啓発は欠かすことができません。また大切なことは、得た知識を普段の生活に生かすことですので、学校便りなどで引き続き訴えているところです。



統合に伴い、本校に通う児童の半数近くがスクールバス通学となり、また生活習慣から体力の低下が心配されてきました。そこで今年度は、せっかく高まった健康への関心を体力面にも視点を当て、さらに健やかな体を作っていきたいと考え、児童一人一人の「体力」の実態を把握し、普段の体育や生活指導に生かし、体力の向上を図っていくことにしました。

体力の実態を把握するには全国的に行われており、各学年の全国的な平均も分かることから、新体力テストがもっとも効果的である考え、新年度計画の経営方針の中で方向性を示し、まずは3年生以上で取り組んでいくこととしました。今年度に入り、ある大学から研究のために、児童の体力テストのデータを活用したいので、実施時には学生たちとともに全面的に協力するとの申し入れと、町でも児童の体力の実態を把握したいとの思惑が一致し、教育委員会の協力も得られることとなりました。当日は晴天にも恵まれ、2日間で3年生以上の体力テストを実施することができました。

これから、結果を基に分析を行うことにより、児童一人一人はもちろん、学年・男女それぞれの体力面の傾向をしっかりと把握し、今後の指導に役立てていきます。

